

Ⅲ. 未婚者の結婚へむけた行動

(1) 最近の「婚活」は不活発？

未婚化・晩婚化の趨勢は顕著で、若者の「結婚ばなれ」が指摘されて久しい。ここでは、30歳前後（28～33歳）の未婚女性を対象に、10年前と現在では、結婚に対する意向や、結婚へ向けた行動（結婚につながる可能性のある行動）*が異なるのかを比較してみる。

結婚に対する意向については、10年前と現在でほとんど違いはなく、7割の女性が結婚を希望している。一方、結婚へむけた行動の状況をみると、10年前にくらべ、この1年間に結婚へむけた具体的な行動を1つ以上おこなったという人が減少している。

10年前に比べて、今の未婚女性の方が、（交際相手がいて、その必要がない人も含め）結婚相手を「積極的に」探していないことがわかる。

* ここで結婚へ向けた行動とは、以下の質問への回答状況をさす。この1年間に次の行動をおこなったか（複数回答）。①親戚や家族の紹介でお見合いをした ②友人の紹介でお見合いをした ③この1年間に結婚紹介の会に加入した ④1年以上前から、結婚紹介の会に継続加入している。

図表Ⅲ-1 28～33歳の未婚女性の結婚意向-10年前との比較-

	1998年	2007年 (%)
すぐにでも結婚したい	15.2	19.1
今は結婚したくないが、いずれはしたい	58.2	50.9
必ずしも結婚しなくてよい	22.4	23.2
結婚したくない	4.2	6.8
人数	165	244

図表Ⅲ-2 28～33歳の未婚女性の1年あたりの結婚に向けた行動
-10年前との比較-

	1998年	2007年 (%)
なし	76.6	84.0
1つ	18.5	12.3
2つ以上	4.8	3.7
人数	184	244

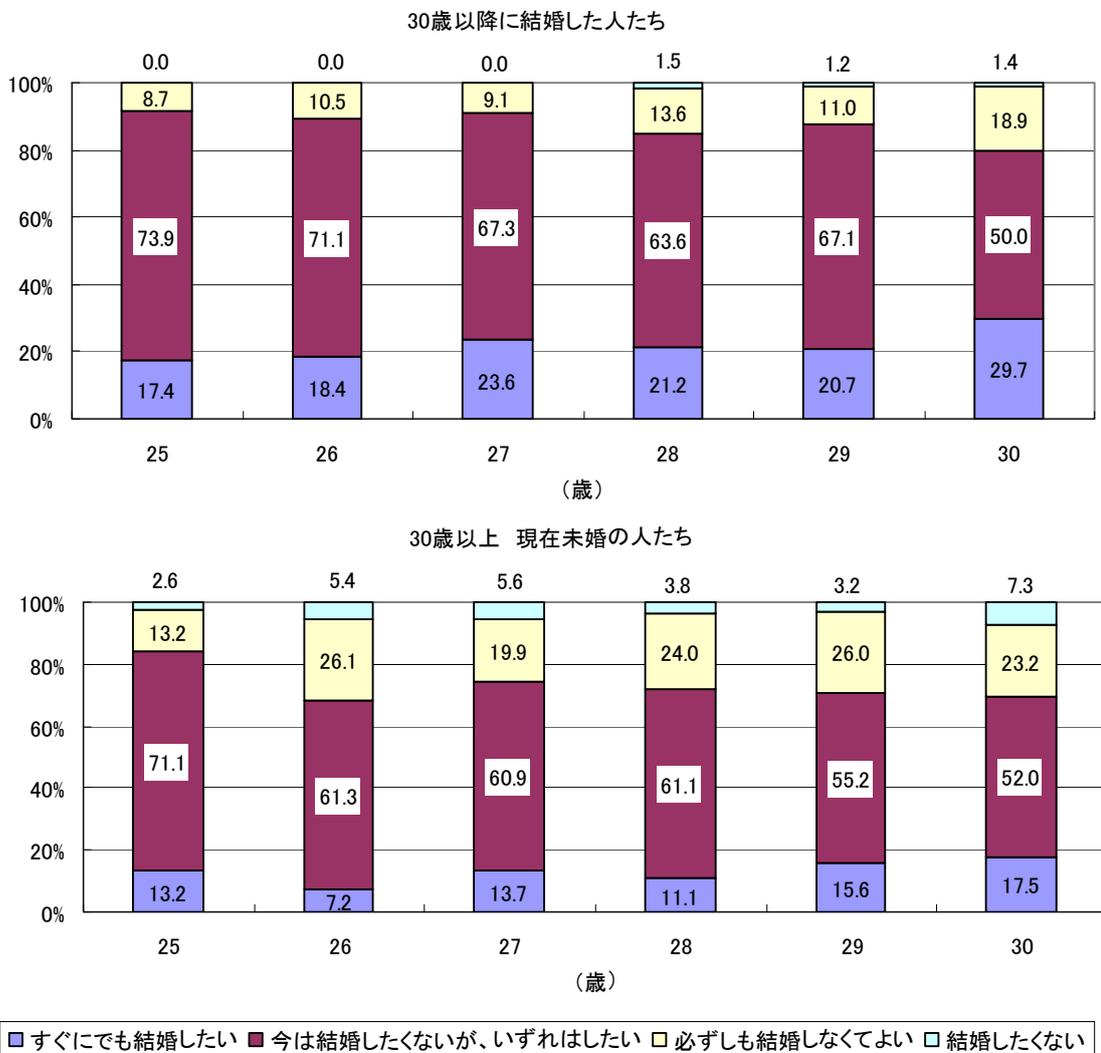
注) 図表Ⅲ-2の「なし」「1つ」「2つ以上」は、上記*に①～④として挙げられている行動をいくつおこなったかを表す。

(2) 「30歳」が決断を迫る？

今後の未婚化・晩婚化の動向をみる上で、30代女性の結婚行動が注目される。30歳以降に結婚した女性たち（約80人）と、30歳以上で現在未婚の女性たち（約200人）の、20代での結婚に対する意識と行動を比較する。

まず、両者の20代後半時点での結婚意向については、30歳以降に結婚した女性の方が、30歳以上で未婚の女性とくらべ、20代後半時点で「すぐにでも結婚したい」という強い希望をもっていた人が多く、30歳になるとそれまでの2割程度から約3割と一気に増えている。いっぽう未婚の人たちでは、20代後半時点で結婚に否定的な意見の人が多く、「30歳」で「結婚したくない」が7.3%と増加している。

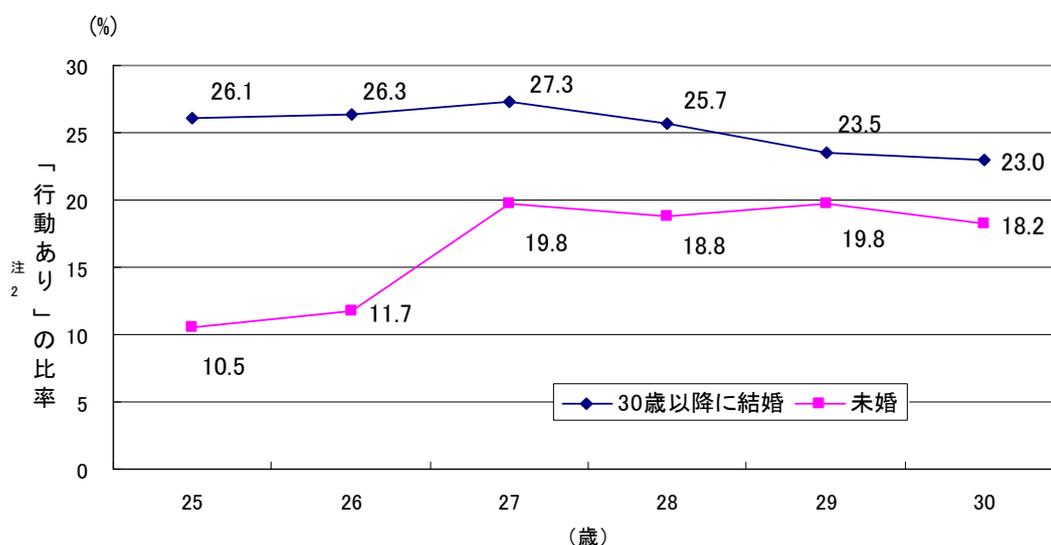
図表Ⅲ-3 20代後半での結婚に対する意向



次に、20代後半時点での結婚に向けた行動についてみる。どちらも、何もしていない人が最も多い点は共通であるが、何らかの行動をおこなった人をくらべてみると、30歳以降に結婚した女性は、早い段階から結婚に向けて何らかの行動をおこなっていた人が多いのに対し、30歳以上で現在未婚の女性は、27歳あたりから結婚に向けた行動を始める人が多いという違いがみられる。

未婚女性にとって「30歳」という年齢が、結婚を考えるひとつの節目として、意識されていることがうかがえる。

図表Ⅲ-4 年齢別 結婚に向けた行動の有無



注 1) ここで「結婚に向けた行動」があったということは、①親戚や家族の紹介でお見合いをした ②友人の紹介でお見合いをした ③この1年間に結婚紹介の会に加入した ④1年以上前から、結婚紹介の会に継続加入している、のいずれか1つ以上を該当年齢に行っていた場合をさしている。

注 2) 「行動あり」とは、注 1)のいずれかの行動を1つ以上行っていた者をさす。